

家庭・地域・学校の三位一体で！ それが体力向上の近道だ！

埼玉県久喜市立久喜小学校

全校児童数	464名(男子233名 女子231名)
全クラス数	16クラス(内特別支援学級2クラス)
教職員数	30名(内体育専科0名)
地域のスポーツ指導者の活用(年間延べ人数)	10名

Plan…取組時の課題と目的

1 取組時の課題

平成 29 年度における、本校の児童の新体力テストの A+B+C 評価達成率は 91%であった。一見高い結果に見えるが、個々の能力に目を向けると大きな差があった。運動が得意と自認する児童も多いが、一方で「運動の行い方が分からない」「どうすれば体力が上がるのか」などの声が保護者や児童から上がっているのも実状である。

また、本校は JR 久喜駅より徒歩圏内の学区のため、宅地増加が著しい。そのため、児童が身体を動かせる場所に制限がある。公園等もあるが、規模は非常に小さい。

さらに本校の児童の実態として、表舞台に立ち、堂々と活動することに恥ずかしさを感じ、もっている力を十分に発揮できずにいる児童が多く見られた。

2 取組の目的

- ① 限られたスペースで、運動量が確保できる実践を行う。
- ② 学校だけでなく、地域や家庭とともにまずは「運動が楽しい」という感覚を知り、児童の体力の向上をはじめ、関わる全ての人々が豊かなスポーツライフを営む素地を養えるよう取り組む。
- ③ 「全力で声を出す」「全力で汗をかく」=「楽しくなる」「できるようになる」と考え、人前でも堂々と行動のできる人間になろうという考え方を広める。

Do…取組の内容

本校の取組事例は大きく二つある。一つ目は、体育日より「グローアップ」の作成である。平成 29 年度より発行を開始しており、本校 HP にも掲載している。月に 1 回、全児童、保護者に向けて配付している。グローアップの中では、前年度の新体力テストの結果をもとに、各学年で取り組む毎日の運動(本校では自分アップ「体」の取り組みという)を紹介、また各種行事・地域スポーツ大会への参加啓発等を中心に知らせている。

二つ目は、運動会でのプログラムに「地域・家庭・学校が全員で取り組む、久喜小ダンス」を取り入れた。



●工夫したこと

工夫・意識したポイントは①空間制限下においても運動量が確保できること②用具・器具等を必要としないこと③家族や地域ぐるみで取り組めること④適度に負荷のかかる内容であることの 4 点を重視した。さらに、ダンスの曲に「ジンギスカン」「ミッキーマウスマーチ・ユーロビート ver.」を用い、聞き慣れた音楽で児童が「楽しむ」ことを第一に実施した。また、グローアップでは、この全校

ダンスを行うにあたって、保護者や地域の方々に早々に連絡を行った。(隊形や入退場など)また、4月の懇談会において、担任より「是非一緒に踊りましょう」という旨を伝えた。さらに、昨年度より本校 HP 上に全校ダンスの映像を公開し、家族や地域の方々がいつでも家で見られるようにした。



Check…取組成果の評価

運動会後には、多くの保護者の方より、「子供はいつもあんなに身体を動かしているのですね！」や「家でもできるので定期的にやりたいと思います！」といった今後にプラスになる感想を多くいただいた。一方で、「せっかくだからもっともっと動画資料を見られるようにしてほしい！」などの声も上がった。子供たちからも「来年も踊りたい」という声が多く聞こえてきた。

Action…今後の課題

今決まっていることとして、次年度も継続して行うこと、さらに、自分アップ「体」の取り組み内容をより身近なものに感じてもらうため、家でもできる簡易な運動や用具等をグローアップやHP上の動画等で公開していくことから始めていきたい。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、今後は「スポーツをする、様々なスポーツを観る、様々なスポーツを知る、・スポーツの運営に携わる」等の経験ができるチャンスが来ることも学校から地域・家庭へ発信していきたい。

◎体力の向上の取組がもたらす波及効果

最終的には子供たちにとって体力向上だけでなく、保護者と子供が関わる機会の増加、さらには今後変化の激しい時代の中で主体的に行動できる心を育むための一つの手段になればと願っている。

児童の中には「以前より人前で何かをやることに不安を感じなくなった」という声も出てきた。そして、我々教師にとっては、子供たちに身に付けさせなければならない力として、「生きる力」というよりも「生き抜く力」を身に付けさせなければならないという使命感を再認識できる機会にもなった。

また、外部指導者をより多く活用していく必要があると感じている。「一流」のプレイや考え方に触れることは、我々教師の指導力の向上や、児童生徒の意欲の向上にもつながると確信している。私たちにとっても「生」の教材を活用しない手はないと考える。

参考：久喜小学校 HP URL <http://www.kuki-city.ed.jp/kuki-e/>